

図 9

内用散剤の内訳は比較的良好に処方される散剤を予め混合調製する予製剤が 18 件 (2.4%)、ジゴキシン散や乾燥甲状腺末などを 10 倍、100 倍、1000 倍など乳糖などで希釈する倍散が 92 件 (12.4%)、予め散剤を分包しておくものが 222 件 (30.0%)、医師と記号により処方内容を取り決めた約束処方の調製が 408 件 (55.1%) であった (図 10)。

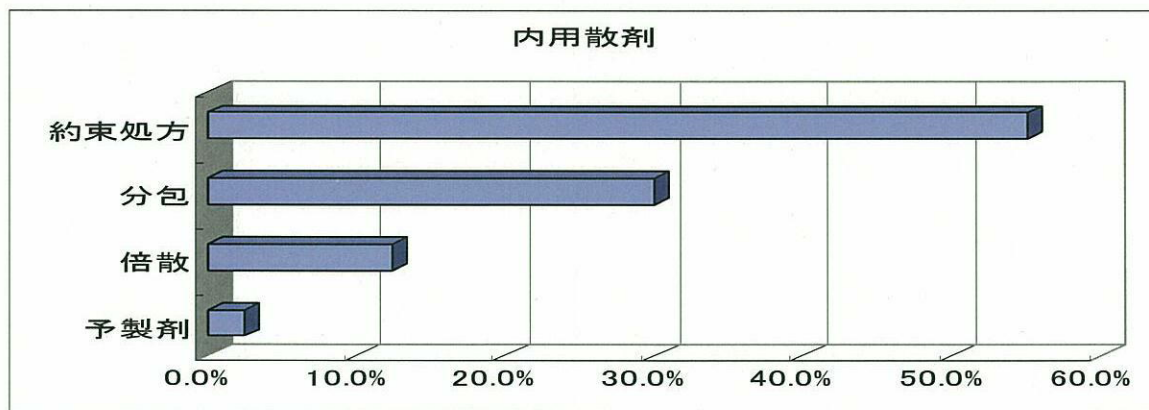


図 10

軟膏の予製は約束処方による調製が 228 件 (46.7%)、2 種類の軟膏を混合製剤するものが 237 件 (48.6%)、軟膏を少量の軟膏壺に小分けするものが 23 件 (4.7%) であった (図 11)。